

「学校に着ていく服」のあり方検討委員会だより

第4号 2024年9月25日発行

《発行》浜松市教育委員会 教育総務課(電話:457-2401)

第3回検討委員会では、これまでの議論や子供たち・保護者からのアンケート結果をもとに、「学校に着ていく服」のあり方を検討するうえでの「視点・方向性」と「今後の論点」についての整理を行いました。

委員及び有識者の方々からは、各々の立場から多くのご意見をいただき、充実した検討委員会となりました。

また、「制服」ではなく、「学校に着ていく服」の検討を進めていきたいという思いから、会議の名称を「浜松市立中学校における『学校に着ていく服』のあり方検討委員会」へ改めることとしました。

協議内容（これまでの協議を踏まえた事務局からの提案）

〈視点について〉

- ・制服に対して悩みや不安を抱えている子供への特別な配慮ではなく、市立中学校に通う全ての子供たちを視点とすること。

〈方向性について〉

- ・「制服」ではなく、「学校に着ていく服」を検討すること。
- ・各学校が「学校に着ていく服」のあり方を検討していく際に必要となる項目及びその方向性について検討していくこと。
- ・市統一服の必要性についても併せて検討すること。

〈今後の論点について〉

- 論点1 今の時代における「学校に着ていく服」とは
- 論点2 なぜ「学校に着ていく服」の検討が必要なのか
- 論点3 「学校に着ていく服」を検討する上で必要な観点とは何か
- 論点4 市統一服は必要か



委員・有識者の意見（一部抜粋）

〈視点について〉

- ・制服を契機として学校に行けないということを絶対に起こさないという点が最も中心においた方がよい価値だと考える。
- ・「学校に着ていく服」によって心理的安全性が確保されることが必要だと思う。

〈方向性について〉

- ・「学校に着ていく服」を検討するうえで、特定の服装の強制とならないようにすることが必要だと考える。
- ・従来の画一的な制服から変更していく場合、「考えなくてもいいから楽」というこれまでのあり方を手放す覚悟が必要である。生徒が自分の考えを持ち、学校に着ていく服を選ぶことができる仕組みが大事なのではないか。
- ・「浜松市として制服をどのような方向に持っていきたいか」に相当するアクションプランを作成してはどうか。

〈今後の論点について〉

- ・「学校に着ていく服」を自由にしたときに、従来よりも費用がかかることが予想されるため、その点も検討する上で必要な観点だと思う。
- ・家庭の経済的負担の軽減や機能性の重視といった観点が必要だと思う。標準服を基本としながら、リボンやネクタイなどで学校ごとの差別化を図ることが現実的ではないだろうか。
- ・学校が事業者を選定する際の透明性を確保する観点が必要ではないか。

今回の協議により、大まかな方向性がまとまりましたので、次回からは「学校に着ていく服」の定義の検討といった具体的な協議に入っていきます。

会議の資料や会議録は市公式HPで公開しています。

市公式HP ⇒ 子育て・教育 ⇒ 教育施策 ⇒ 浜松市立中学校における「学校に着ていく服」のあり方検討委員会

URL : <https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/somu/sesaku/seihuku/top.html>

